

2019年3月期 決算説明会



スズキ株式会社
2019.5.10

完成検査業務全般について、社外の専門家による客観性・中立性を確保した上での徹底的な調査・検証結果を4月12日に国土交通省へ提出し公表しました。また、これに伴うリコールについても実施することとなりました。

お客様やお取引先様をはじめとする当社を取り巻く全てのステークホルダーの皆様に、多大なご心配、ご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

今後は、経営陣と全従業員が危機感を持って受け止め、コンプライアンス意識を持ち、全社一丸となって再発防止策を徹底的・永続的に進めることによって、ステークホルダーの皆様からの信頼を取り戻してまいります。

通期実績

… 増収減益、特別損失計上

		当期	前期	増減		補足
		('18/4-'19/3)	('17/4-'18/3)	増	減 増減率	
連結業績 (億円)	売上高	38,715	37,572	+1,143	+3.0%	2期連続増収、過去最高 ^{※1}
	営業利益 (利益率)	3,244 (8.4%)	3,742 (10.0%)	▲498	▲13.3%	4期振り減益
	経常利益 (利益率)	3,795 (9.8%)	3,828 (10.2%)	▲33	▲0.9%	4期振り減益
	当期純利益 ^{※2} (利益率)	1,788 (4.6%)	2,157 (5.7%)	▲369	▲17.1%	4期振り減益

- ・売上高増加 … 日本での四輪車の販売増、インドでの四輪車、二輪車の販売増等
- ・営業利益減益 … インドルピーなど新興国通貨安の影響や諸経費等増加
- ・経常利益減益 … インドでの受取利息増加や持分法投資損益の改善もあり減益幅は縮小
- ・当期純利益減益^{※2} … リコール関連の特別損失813億円計上により減益

世界販売 (千台)				増減		
				増	減 増減率	
	四輪車	3,327	3,224	+103	+3.2%	インド、日本等で増加、過去最高 ^{※1}
	二輪車	1,743	1,576	+167	+10.6%	インド、インドネシア等で増加

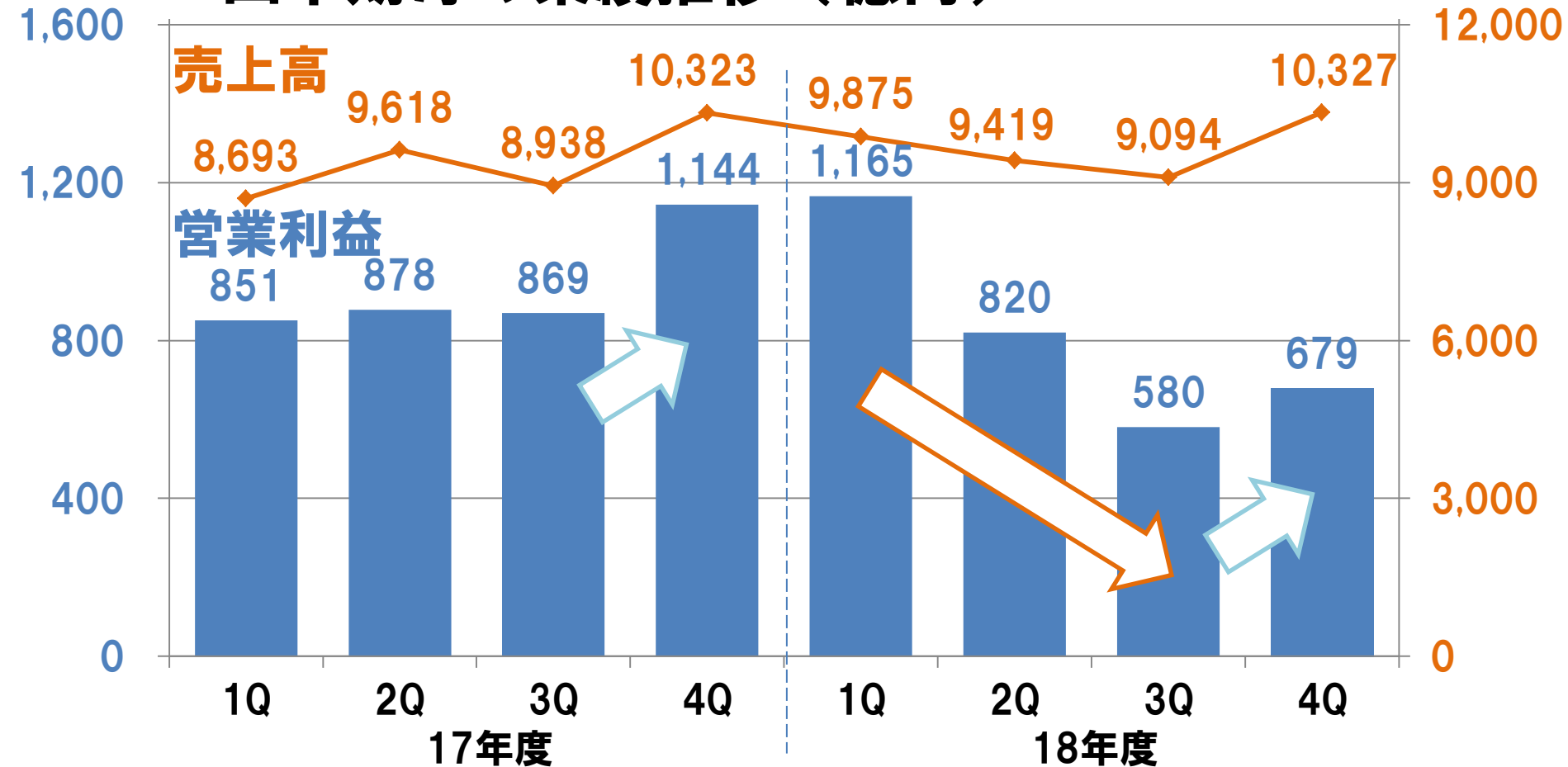
配当	一株当り配当金	74円	74円	±0円	予想値据置き 配当性向18.7%
----	---------	-----	-----	-----	---------------------

※1. 連結決算公表(1978年3月期)以来、過去最高

※2. 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

18年度は2Q以降、新興国通貨安の影響等により減速

四半期毎の業績推移（億円）



次期予想

… 売上高・営業利益前年並み

	次期予想 ('19/4-'20/3)	当期実績 ('18/4-'19/3)	増 減		補足
			増	減 増減率	
連結業績 (億円)	売上高	39,000	38,715	+285	+0.7%
	営業利益 (利益率)	3,300 (8.5%)	3,244 (8.4%)	+56	+1.7%
	経常利益 (利益率)	3,400 (8.7%)	3,795 (9.8%)	▲395	▲10.4%
	当期純利益※ (利益率)	2,000 (5.1%)	1,788 (4.6%)	+212	+11.9%

- ・ 売上高前年並み … 海外売上増を見込むものの国内売上減により前年並み
- ・ 営業利益前年並み … 新興国での販売増を見込むものの為替影響等により前年並み
- ・ 経常利益減益 … インドでの受取利息減少などもあり減益
- ・ 当期純利益増益※ … 前年に特別損失813億円計上したこともあり増益

世界販売 (千台)		次期予想	当期実績	増 減		補足
				増	減 増減率	
	四輪車	3,340	3,327	+13	+0.4%	インドは前年比+4%
	二輪車	1,825	1,743	+82	+4.7%	

配当	一株当り配当金	次期予想	当期実績	増 減	補足
	74円	74円	±0円	-	

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

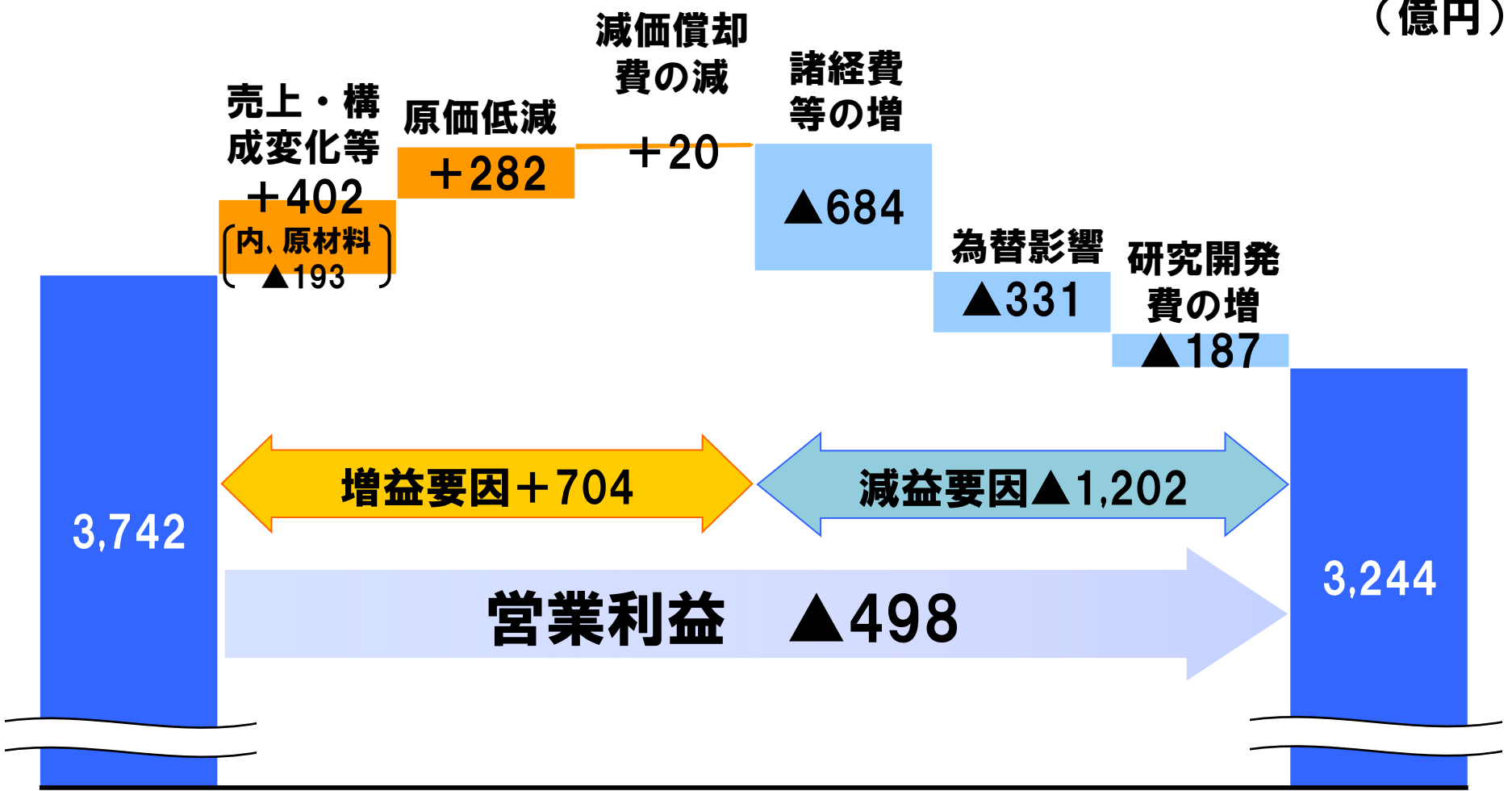
各事業で増加、海外が減少したが、国内・連結は過去最高※

(億円)	四輪			二輪			マリン他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	12,189	10,813	+1,376	192	208	▲16	143	146	▲3	12,524	11,167	+1,357	
自 社	11,093	9,750	+1,343	192	208	▲16	143	146	▲3	11,428	10,104	+1,324	
OEM	1,096	1,063	+33							1,096	1,063	+33	
海外計	23,136	23,545	▲409	2,359	2,256	+103	696	604	+92	26,191	26,405	▲214	▲1,542
欧州	4,681	4,495	+186	394	440	▲46	173	171	+2	5,248	5,106	+142	▲60
北米	12	15	▲3	339	330	+9	357	280	+77	708	625	+83	▲1
アジア	16,258	16,547	▲289	1,300	1,127	+173	65	58	+7	17,623	17,732	▲109	▲1,390
インド	12,528	12,598	▲70	549	465	+84	5	4	+1	13,082	13,067	+15	▲1,063
〃以外	3,730	3,949	▲219	751	662	+89	60	54	+6	4,541	4,665	▲124	▲327
その他	2,185	2,488	▲303	326	359	▲33	101	95	+6	2,612	2,942	▲330	▲91
総合計	35,325	34,358	+967	2,551	2,464	+87	839	750	+89	38,715	37,572	+1,143	▲1,542
内、為替 換算影響			▲1,448			▲91			▲3			▲1,542	

注. 当期…2018年4～2019年3月期、前期…2017年4～2018年3月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

※連結決算公表(1978年3月期)以来、過去最高

(億円)



前期
営業利益

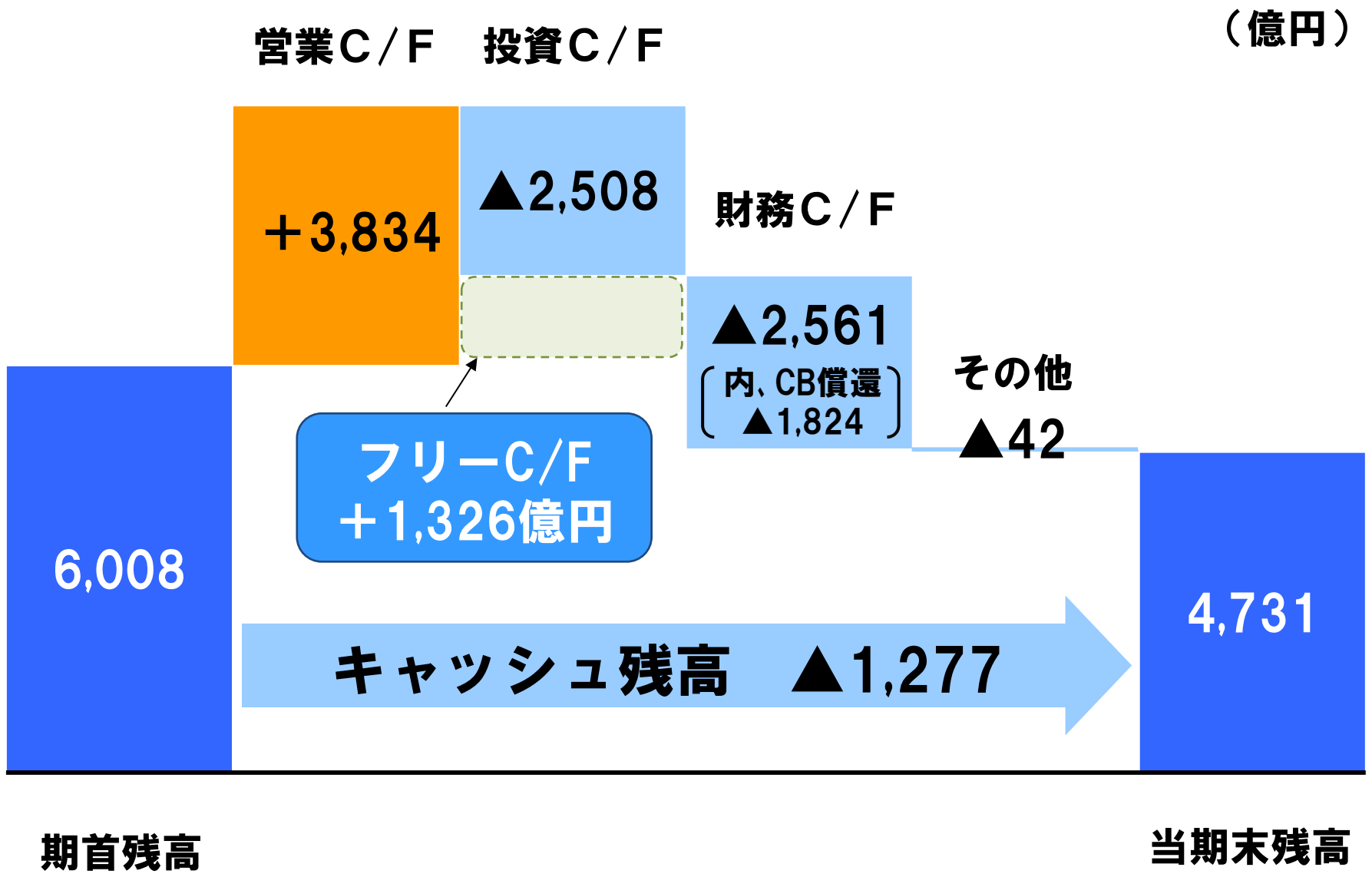
当期
営業利益

	当 期 ('18/4-'19/3)	前 期 ('17/4-'18/3)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	111円	111円	±0円	+0億円
ユーロ	128円	130円	▲2円	▲17億円
インドルピー	1.60円	1.73円	▲0.13円	▲190億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.78円	0.83円	▲0.05円	▲18億円
タイバーツ	3.43円	3.36円	+0.07円	▲3億円
パキスタンルピー	0.87円	1.04円	▲0.17円	▲48億円
その他	—	—	—	▲55億円 ※
計				▲331億円

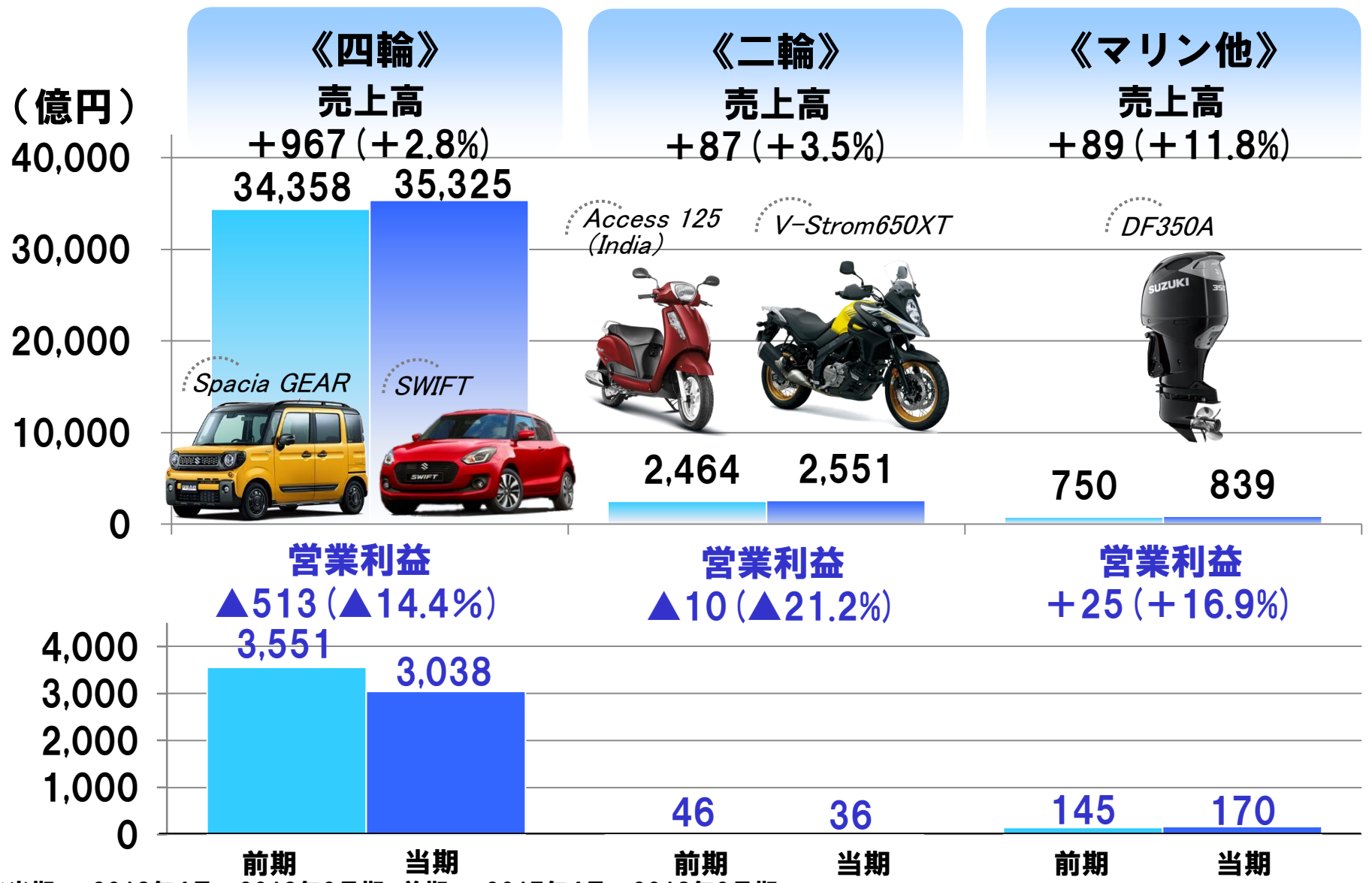
※メキシコペソ▲15億円、豪ドル▲12億円、ロシアルーブル▲9億円 他

	当期 ('18/4-'19/3)	前期 ('17/4-'18/3)	増減
(当社単独)	584億円	536億円	+48億円
(子会社)	2,105億円	1,598億円	+507億円
設備投資	2,689億円	2,134億円	+555億円
減価償却費	1,489億円	1,509億円	▲20億円
研究開発費	1,581億円	1,394億円	+187億円

	('19/3末)	('18/3末)	増減	('18/12末)	増減
有利子負債残高	3,754億円	5,779億円	▲2,025億円	4,068億円	▲314億円
連結子会社数	130社	131社	▲1社	131社	▲1社
持分法適用 関連会社数	28社	31社	▲3社	28社	±0社
従業員数	67,721人	65,179人	+2,542人	68,040人	▲319人



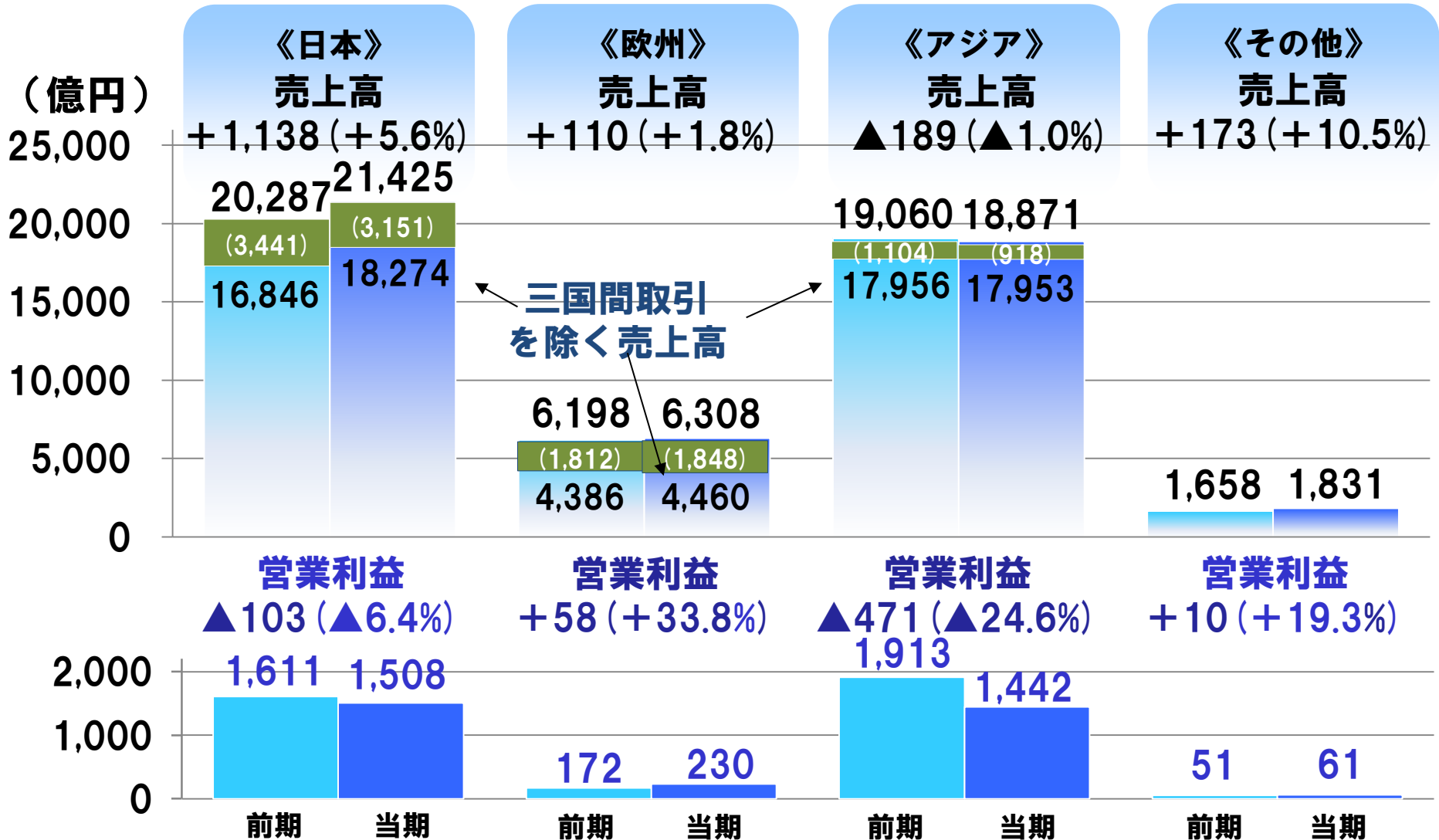
連結：事業別業績 (売上高・営業利益)



※当期・・・2018年4月～2019年3月期、前期・・・2017年4月～2018年3月期



連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



注. 三国間取引について
 ※当期・・・2018年4月～2019年3月期、前期・・・2017年4月～2018年3月期
 従来、ハンガリー生産車の欧州域内への子会社向け売上高は、域内子会社間取引として消去されていましたが、取引形態を日本経由の三国間取引に変更したため、日本向け売上高及び日本から欧州への売上高が消去されず、日本・欧州ともに売上高がその分、多く表示されています。アジアについても同様な取引があります。

インドでの販売増等を見込むが、為替円高、
研究開発費増等により売上高・営業利益前年並み（億円）

	通期予想		
	次期予想	当期実績	増減
売上高	39,000	38,715	+285
営業利益 (利益率)	3,300 (8.5%)	3,244 (8.4%)	+56
経常利益 (利益率)	3,400 (8.7%)	3,795 (9.8%)	▲395
当期純利益* (利益率)	2,000 (5.1%)	1,788 (4.6%)	+212

	通期予想		
	次期予想	当期実績	増減
設備投資	2,700	2,689	+11
減価償却費	1,600	1,489	+111
研究開発費	1,700	1,581	+119

*親会社株主に帰属する当期純利益

《営業利益 増減要因》

増減要因	
原価低減	+310
売上・構成変化等	+126
為替影響	▲150
研究開発費の増	▲120
減価償却費の増	▲110
合計	+56

《為替レート・為替影響》

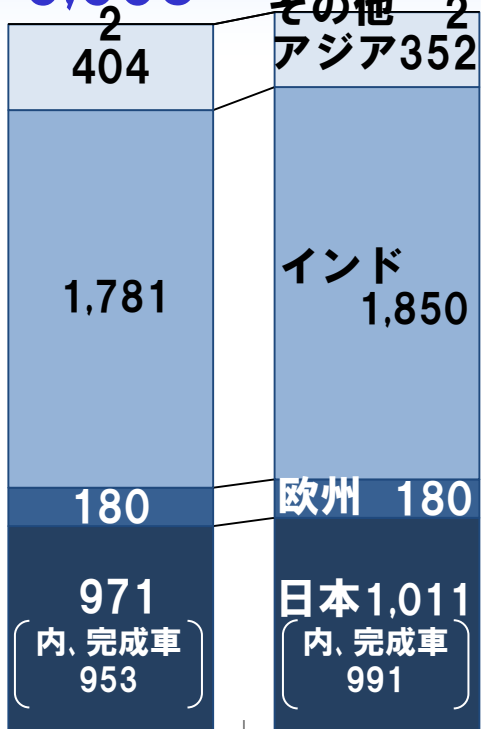
	通期予想			営業利益 為替影響
	次期予想	当期実績	増減	
米ドル	110円	111円	▲1円	▲7
ユーロ	125円	128円	▲3円	▲47
インドルピー	1.58円	1.60円	▲0.02円	▲26
インドネシア*	0.77円	0.78円	▲0.01円	▲4
タイバーツ	3.40円	3.43円	▲0.03円	▲0
※インドネシアは 100ルピア当り	その他通貨			▲66
	為替影響額 計			▲150

通期では過去最高を更新、但し1～3月は前年割れ

《4～3月比較》

+56千台 (+1.7%)

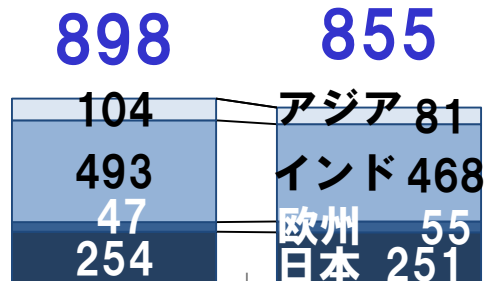
3,338 (前期) 3,394 (当期)



《内、1～3月比較》

▲43千台 (▲4.7%)

(千台)



●当期の世界生産

- ・通期では、3,394千台（前期比+1.7%）で、過去最高を更新
- ・1～3月はインドの減などにより、855千台（同▲4.7%）と前年割れ

前期

当期

前年同期

当第4四半期

'17/4-'18/3

'18/4-'19/3

'18/1-3

'19/1-3

通期では過去最高を更新、但し1～3月は前年割れ

《4～3月比較》
+103千台 (+3.2%)

3,224 3,327

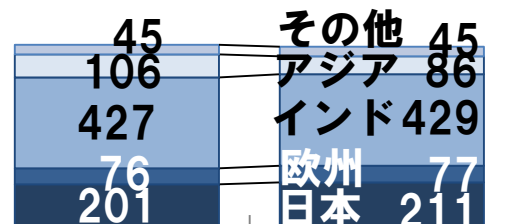


前期 '17/4-'18/3 当期 '18/4-'19/3

《内、1～3月比較》
▲8千台 (▲1.0%)

(千台)

855 847



前年同期 '18/1-3 当第4四半期 '19/1-3

●当期（4～3月）の世界販売

- ・3,327千台（前年同期比+3.2%）で、過去最高を更新
- ・日本、インドで増加
- ・アジアの減少は主に中国での減少

●当期（1～3月）の世界販売

- ・日本が増加したものの、中国の減少により847千台（同▲1.0%）で前年割れ
- ・世界販売を牽引してきたインドは前年並み

18年度は世界販売の17%がハイブリッド車*

ハイブリッドシステムのイメージ図



マイルドハイブリッドシステムのイメージ図



四輪ハイブリッドシステム搭載車*

販売台数

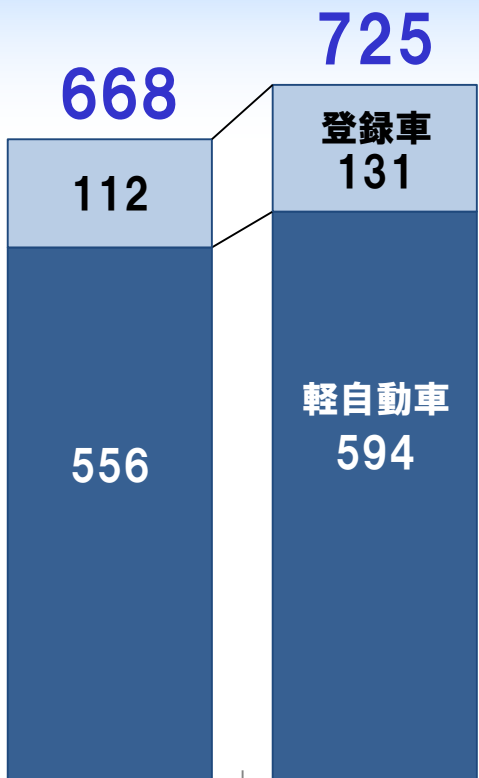
(千台)

	16年度世界販売			17年度世界販売			18年度世界販売		
		内、HEV*	HEV比率		内、HEV*	HEV比率		内、HEV*	HEV比率
日本	639	287	44.9%	668	350	52.4%	725	382	52.7%
インド	1,445	85	5.9%	1,654	85	5.2%	1,754	149	8.5%
その他	835	17	2.0%	902	27	3.0%	848	29	3.5%
合計	2,918	389	13.3%	3,224	462	14.3%	3,327	561	16.9%

*ハイブリッド車はマイルドハイブリッド、S-エネチャージ、SHVSを含む。
 その他地域のハイブリッド車販売台数は日本、インドからの輸出台数。

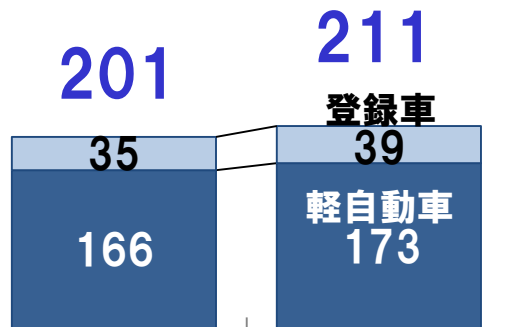
「スペーシア」「クロスビー」などが貢献

《4～3月比較》
+57千台（+8.5%）



前期 '17/4-'18/3 当期 '18/4-'19/3

《内、1～3月比較》
+11千台（+5.2%）
（千台）



前年同期 '18/1-3 当第4四半期 '19/1-3

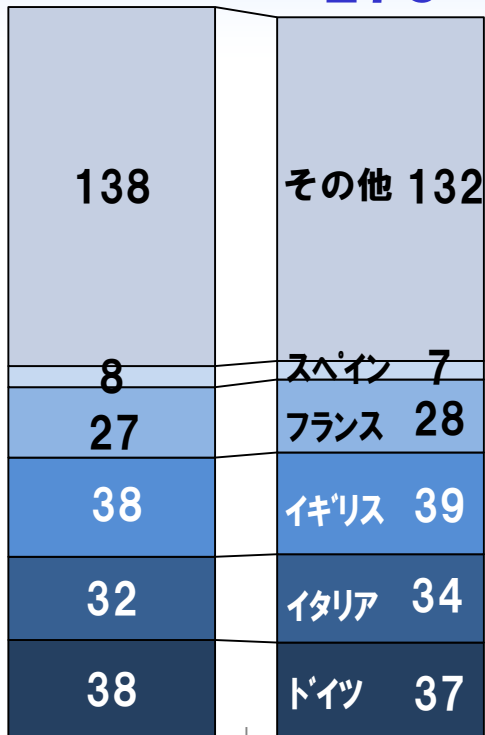
●当期（4～3月）の日本販売

- ・「スペーシア」「ジムニー」、「クロスビー」等の販売貢献により725千台（前期比+8.5%）
- ・軽自動車は594千台（同+6.8%）
- ・登録車は初めて13万台超えとなる131千台（同+17.3%）



ハンガリー工場減産影響もあり前年割れ

《4～3月比較》
▲3千台（▲1.0%）
281 **278**



前期

当期

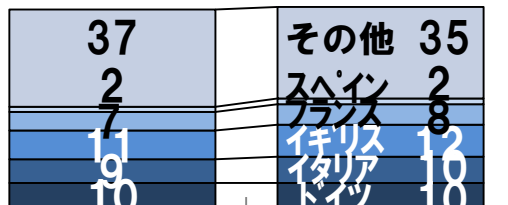
'17/4-'18/3

'18/4-'19/3

《内、1～3月比較》
+1千台（+0.7%）
(千台)



76 **77**



前年同期

当第4四半期

'18/1-3

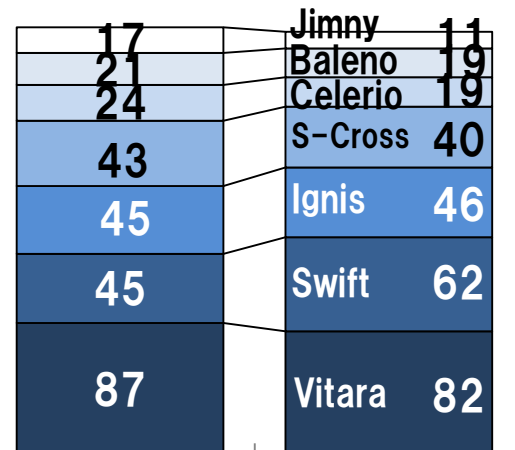
'19/1-3

●当期（4～3月）の欧州販売

- 「スイフト」、「イグニス」が販売貢献したものの、ハンガリー工場減産の影響もあり、278千台（前期比▲1.0%）と前年割れ

《モデル別販売内訳》

281 **278**



前期

当期

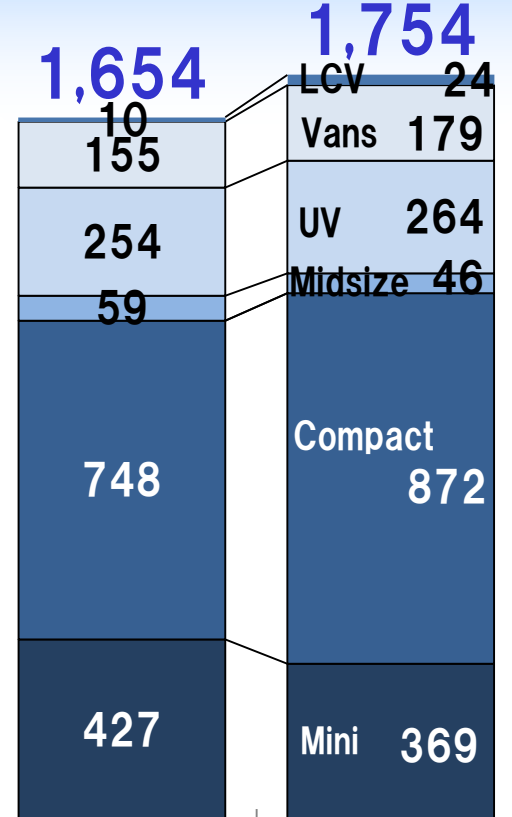
'17/4-'18/3

'18/4-'19/3

通期では過去最高、但し1～3月は前年並み

《4～3月比較》

+100千台（+6.1%）

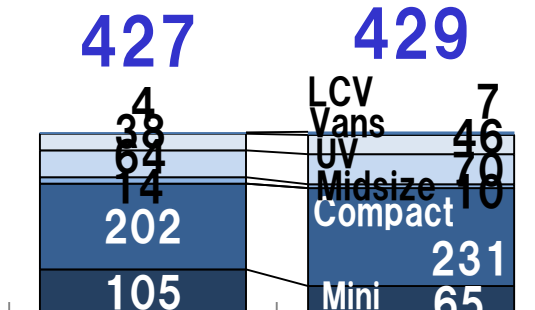


《内、1～3月比較》

+2千台（+0.4%）

（千台）

※LCV=Light Commercial Vehicles,
UV =Utilities Vehicles



●当期（4～3月）のインド販売

- ・1,754千台（前期比6.1%増）で過去最高を更新
- ・1～3月期では前年同期並み

●トピックス

- ・1月、「バレーノ」を一部改良
- ・2月、「ビターラブレツァ」が、16年3月の発売以来、インドコンパクトSUV最速で40万台の販売を達成
- ・2月、「イグニス」を一部改良（安全装備の充実等）
- ・3月、新型アルミ製1.5Lディーゼルエンジンを発表、「シアズ」に搭載車を設定
- ・4月、インド初のBS6（ユーロ6相当）対応車「バレーノ」を発表

前期

当期

前年同期

当第4四半期

'17/4-'18/3

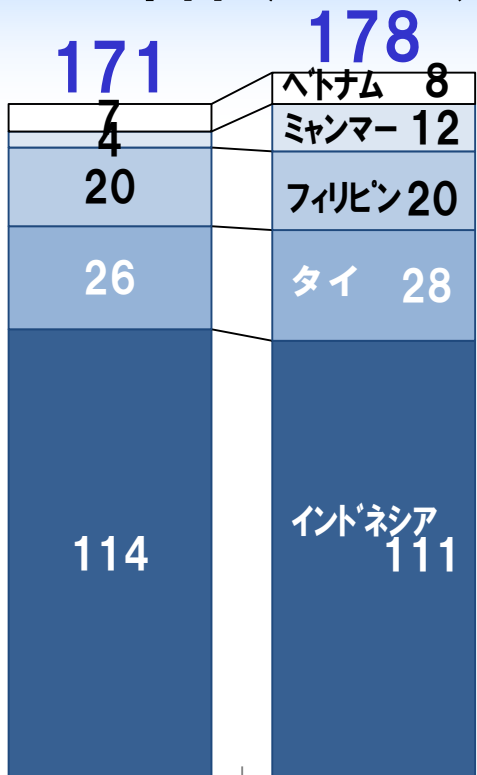
'18/4-'19/3

'18/1-3

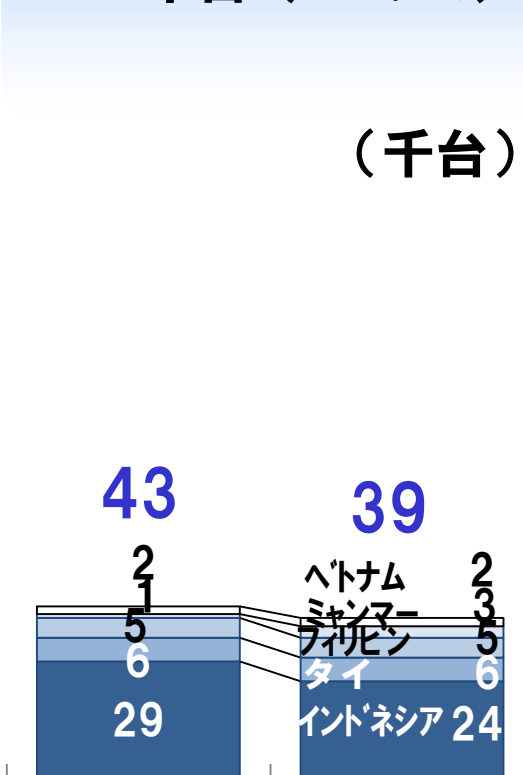
'19/1-3

ミャンマーの販売増等により増加

《4～3月比較》
+7千台（+4.0%）



《内、1～3月比較》
▲4千台（▲9.7%）



- 当期（4～3月）の販売状況
 - ・ アセアン5カ国※合計で178千台（前期比+4.0%）
 - ・ インドネシアは大統領選の影響を受け1月以降、低迷し、通期では前年割れ（同▲2.6%）
 - ・ ミャンマーは全体市場の伸長により、前期比3倍に拡大

● トピックス

- ・ 4月、インドネシアのキャリートラックを全面改良



前期

当期

前年同期

当第4四半期

’17/4-’18/3 ’18/4-’19/3

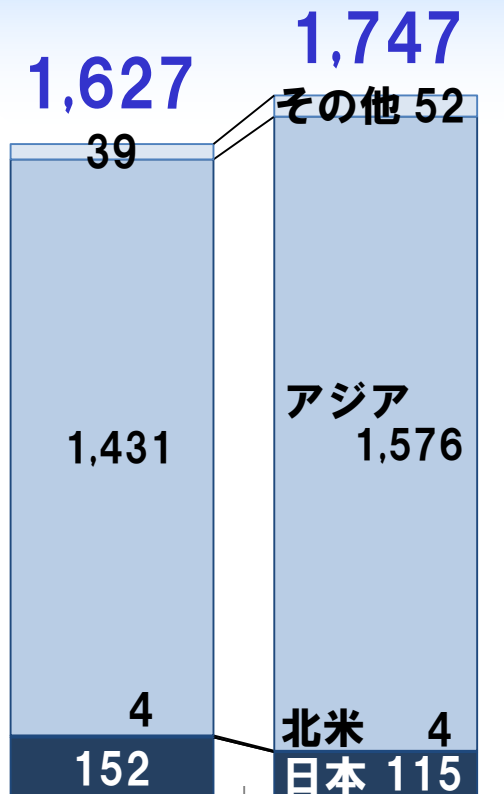
’18/1-3

’19/1-3

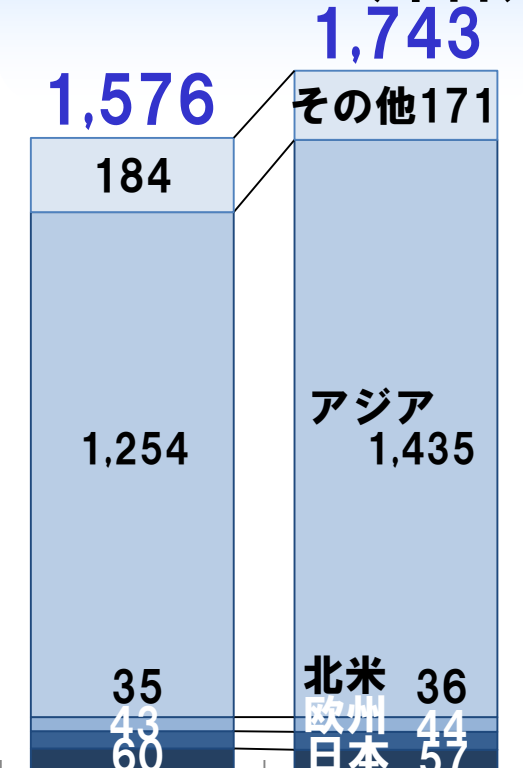
※ アセアン；インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム 5ヶ国合計

生産・販売ともに増加

《4~3月生産》
+121千台 (+7.4%)



《4~3月販売》
+167千台 (+10.6%)
(千台)



●当期（4~3月）の二輪車

- ・二輪車世界生産は1,747千台で前期比+7.4%
- ・二輪車世界販売は1,743千台で前期比+10.6%

●トピックス

- ・4月1日付で「二輪カンパニー」新設、独立採算で積極的に事業正常化への解決策を見出し、収益事業への転換を図る

前期 '17/4-'18/3 当期 '18/4-'19/3

前期 '17/4-'18/3 当期 '18/4-'19/3

インド、インドネシア、フィリピン等で増加

《4~3月生産》
+145千台 (+10.1%)

《4~3月販売》
+181千台 (+14.4%)
(千台)

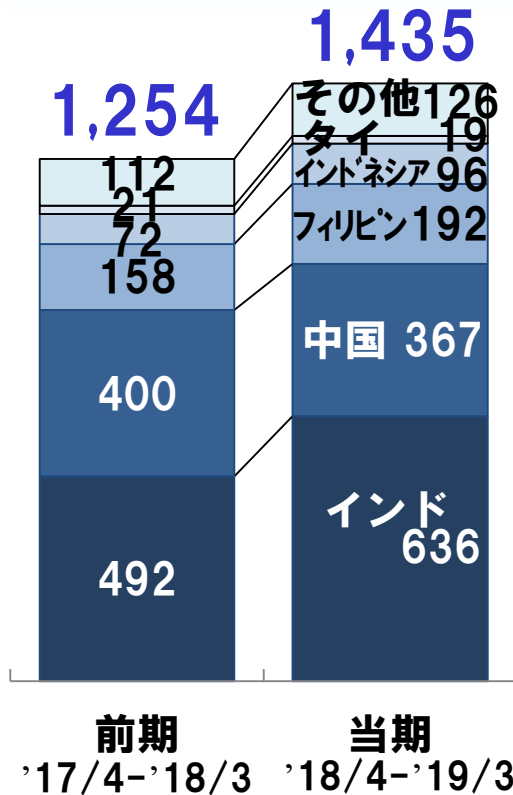
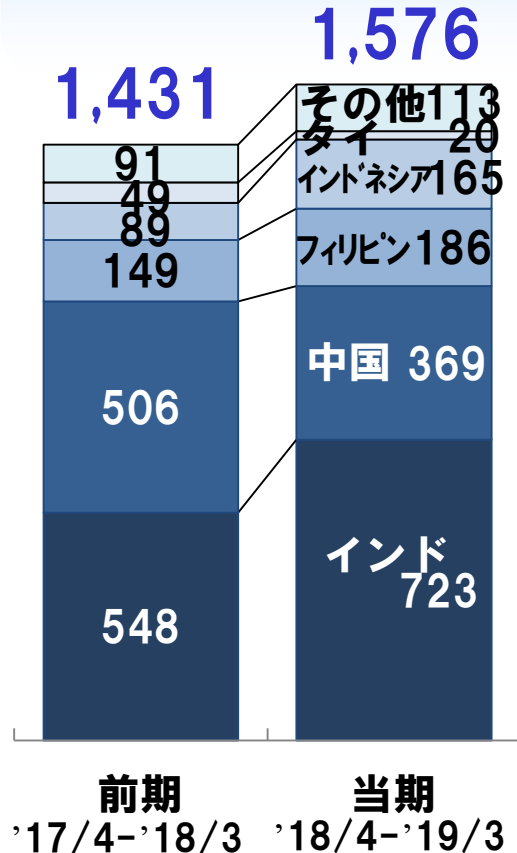
●当期(4~3月)のアジア販売

・アジアの販売はインド、インドネシア、フィリピン等で増加し、1,435千台(前期比+14.4%)

・フィリピンは「スマッシュ」、「レイダー」などアンダーボンの好調等により192千台(同+21.3%)で過去最高更新



・インドはスクーター「アクセス」の好調等により、636千台(同+29.2%)で過去最高更新



前期 17/4-18/3 当期 18/4-19/3

前期 17/4-18/3 当期 18/4-19/3

四輪車はインドでの販売増を見込む

(千台)	生産台数			
	予想 (19年度)	前年実績		
		(18年度)	増減	増減率
<四輪車>				
日本	1,009	1,011	▲2	▲0.2%
欧州	174	180	▲6	▲3.4%
アジア	2,272	2,201	+71	+3.2%
その他	2	2	▲0	▲7.4%
合計	3,457	3,394	+63	+1.9%

(千台)	販売台数			
	予想 (19年度)	前年実績		
		(18年度)	増減	増減率
<四輪車>				
日本	720	725	▲5	▲0.7%
欧州	256	278	▲22	▲8.0%
アジア	2,182	2,138	+44	+2.1%
その他	182	186	▲4	▲2.3%
合計	3,340	3,327	+13	+0.4%

インド四輪の販売見通しは前年比+4%

<二輪車>				
(千台)	予想 (19年度)	前年実績 (18年度)	増減	増減率
日本	111	115	▲4	▲3.4%
欧州	-	-	-	-
北米	3	4	▲1	▲25.5%
アジア	1,680	1,576	+104	+6.6%
その他	52	52	▲0	▲0.6%
合計	1,846	1,747	+99	+5.6%

(千台)	予想 (19年度)	前年実績 (18年度)	増減	増減率
日本	60	57	+3	+6.1%
欧州	47	44	+3	+7.8%
北米	39	36	+3	+7.8%
アジア	1,536	1,435	+101	+7.0%
その他	143	171	▲28	▲16.5%
合計	1,825	1,743	+82	+4.7%

増収減益

(億円)

	当 期 ('18/4-'19/3)	前 期 ('17/4-'18/3)	増 減	
			増 減	増減率
売上高	19,402	18,528	+874	+4.7%
国内	10,502	9,409	+1,093	+11.6%
輸出	8,900	9,119	▲219	▲2.4%
一 般	5,750	5,678	+72	+1.3%
三国間	3,150	3,441	▲291	▲8.5%
営業利益 (利益率)	967 (5.0%)	1,247 (6.7%)	▲280	▲22.4%
経常利益 (利益率)	1,172 (6.0%)	1,371 (7.4%)	▲199	▲14.5%
当期純利益 (利益率)	424 (2.2%)	1,048 (5.7%)	▲624	▲59.5%

当期配当…通期74円/株（期末37円）、予想比±0円、前期比±0円

- 当期の年間配当は予想値通り74円で据置き（配当性向18.7%）
- 次期予想は据置き

		前期実績	当期予定	次期予想
一株当り 配当金	中間配当金	30円	37円	37円
	期末配当金	44円	37円	37円
	年間配当金	74円	74円	74円
配当性向		15.1%	18.7%	17.1%

2019年3月期 決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。